

支部友会だより

No. 97 April 1 2023



日本山岳会東海支部

発行 公益社団法人日本山岳会東海支部
支部友会

〒460-0014 名古屋市中区富士見町8-8 OMCビル
電話：052-332-8363 FAX：052-322-7924

印刷（有）アジマプリント名古屋市中区中味鉢2-438

「オジイの大縦走」



入山：仙流荘



仙塩尾根 北荒川岳から塩見岳を望む



甲斐駒ヶ岳



仙丈ヶ岳



赤石岳



光岳



下山：易老渡

20数年前、ふと思い立って立山から槍ヶ岳までテント縦走した。以来、毎年のように北アルプスの長期テント縦走を重ねてきた。高齢者の声が聞こえだすと、大変そうだからと、それまで手をつけなかった南アルプスの縦走に向き合うようになった。

アプローチが悪く、個々の山は大きく、距離も長く、テント場の標高が低いため、麓からの登山を繰り返すごとに南アの縦走。装備等の軽量化やその中でも変化をもたせ充実した食糧計画等々、これまでの経験を総動員して登山計画をねった。チャレンジは台風がらみの災害やコロナ禍で幾度も阻まれたが、2022年夏、甲斐駒から光まで約100kmの単独テント縦走を達成した。悪天による停滞日を入れ11泊12日を要した。

ある支部友会委員から「オジイがそんなことしちゃダメだよ」と注意（称賛？）された。さて、今夏はどこに行こうかな。
（支部友会委員 高松 信治）

山行報告 令和4年12月
令和5年1月～2月

12月11日(土) ☆

山域：鈴鹿 山名：竜ヶ岳 (1,099m)

(往路) 金山市民会館南側 7:03→四日市 JCT→大安 IC7:48→宇賀溪キャンプ場駐車場 7:58

(復路) 宇賀溪キャンプ場駐車場 14:57→あじさいの湯 15:10→四日市 IC→金山 17:40

コースと所要時間

登山口 8:30～展望台 10:30～金山尾根分岐 10:58～竜ヶ岳山頂 11:17/11:52～展望台 13:34～遠足尾根登山口 14:20～宇賀溪キャンプ場 14:47

山行時間 6時間 42分

参加者 (4名) CL 今津 英一朗



(参加者感想)

・急坂が続く山でしたが、最初は岩場が多く岩登りを楽しめ、稜線に出たからは、岩は少なくなり、360度パノラマの景色を見ながら登れました。草原が広がりとても良い景色でした。リーダーは、この山を今まで何度も登られているとのこと、そのお話を聞くと、ぜひ違う季節にも登りたいと思いました。クマザサが何年かに一度花が咲いて枯れるという話もとても興味深い話でした。下りの途中で、ヘリコプターが上空に来て救助の場面に遭遇。気を引き締めて無事下山し、あらためて安全な登山が出来た事に感謝です。

<リーダーコメント>

みなさま、お疲れさまでした。事前の天気予報が良くない状況で気を揉みましたが、当日は絶好の登山日和でした。気温もそれほど高くなく、眺望もバッチリでした。宇賀溪、竜ヶ岳は毎年2回ほど登りますが、今年は大きな活動があったようです。駐車場の自動化、稜線の避難小屋の建設など。今までこの時期は静かな山でしたが、これからは賑わうことでしょう。賑わうことにより、遭難事故も増えるでしょう。今回もヘリが上がってきて、目の前に要救助者が倒れているところへ遭遇しました。高齢者の体調不良のようでした。

「他山の石」として参考にしましょう。

1月8日(日) ☆ 山域：愛岐丘陵

山名：鳩吹山(314m) 大平山 (291m)

(往路) 金山 8:00→名古屋高速小牧北 IC8:30→41号名濃バイパス→真禅寺 8:50

(復路) 湯の華アイランド 17:00→名古屋高速道→金山 18:00 解散

コースと所要時間

真禅寺登山口 9:10～鳩吹山 9:50～北回り分岐 東 10:40～西山休憩舎・昼食 11:10/11:20～大平山ルート分岐 11:40～大平山 12:00～不老公園・不老の滝 13:30→マイクロバス→寂光院 13:40→湯の華アイランド 14:00 歩行時間 3時間半 参加者 (23名)

統括 L: 尾上 昇 CL: 田中 進 アシスタント: 松本 陽子 ドライバー: 杉山 雄彦

(参加者の感想)

・いつもマイペースな山行なわれら夫婦、相手のペースを改めて考えながら歩きました。リーダーが適切な場面で「さあ、ここの位置、地図ではどこでしょうか？標高は？次のポイントまでの距離は？」など振り返りの時間が随所に設定されていてあっという間に時間が過ぎていきました。おかげで楽しかった我らより先に着いた方にはお待たせして申し訳ありませんでした。相手を思うことこの基本が登山の基本の1つと実感した一日となりました。



・鳩吹山から大平山へのコースは今回初めて歩きました。気候も暖かく、ペースも調度よく、気持ちよく歩くことができました。ピークでは御嶽山、恵那山等綺麗に見ることができてよかったです。下山後は寂光院、温泉までバスの送迎がありがたかったです。新年会では自己紹介で顔とお名前が一致しました。また、抽選会で本もいただけて、ありがとうございました。

・支部友のメンバーさんとお会いする機会があまりない中で今回は多くの方とお会いでき、バスを使っての山行も初めてでしたが、車中でも隣席の方々と山の話で盛り上がりとても充実した年始登山でした。



<リーダーコメント>

今回は真禅寺ルートから3チームに分散して鳩吹山と大平山を目指しました。標高差200mの整備された登山道は快適で50分で頂上に到着。西山休憩所や大平山の手前まで行ってから昼食をとるチームごとのペースで皆さん楽しい会話の中、大平山からの下山は犬山城と木曽川を眺めながら不老公園に全員到着しました。紅葉の名所である寂光院を参拝後、木曽川国定公園内にある湯の華温泉でゆったりとは違い日曜日の為満員盛況でした。3時から湯の華食堂の二階パーティールームを貸し切りで使用してもらい、新年今年の抱負を自己紹介しながら述べ合い、最後はお年玉福引を行い楽しい2時間があっという間に過ぎ金山に6時に着きました。

.....

1月9日(月祝) ☆☆

山城：焼津アルプス 山名：満観峰(470m)

(往路) 金山市民会館南側 6:39→都市高速・東名→花沢の里観光駐車場 9:04

(復路) 駐車場 14:47→サンライフ焼津(黒潮温泉) 15:10/16:09→ジャパレン今池店 18:19

コースと所要時間

花沢の里観光駐車場 9:20～法華寺 9:50～鞍掛峠 10:16～満観峰 10:55/11:30～日本坂峠 12:38～花沢山 13:10/13:30～かんぼ分岐 13:48～法華寺 14:20～駐車場 14:32 所要時間 5時間 12分
参加者 (5名)

CL：今津 英一朗

(参加者の感想)

花沢の里から登山開始。鞍掛峠を登り、お茶の木のトンネルを越えると富士山ビューのパノラマが目の前に。おー！と思わず声が出ました。雲ひとつない快晴と雪を被った美しい富士山。遠くにはキラキラ光る駿河湾。たまに羽虫も飛んでいる

一月とは思えない陽気。そう言えば、さっきノズリが鳴いていたなあ。一富士二鷹でなんだか幸先良さげです♪そんなベストコンディションの中でのお昼ご飯は最高。優しい甘さとコーヒーがより幸福感を増してくれました。日本坂峠から花沢山への急登は今回一番キツイ場所でした。リーダーの「30分後に山頂を目指そう」の声掛けの元にスタート。30分なら余裕だろうと、たかを括っていましたが、後半15分は話す余裕もなくなり必死で歩きました。同行メンバーの方からは初心者向けのちょっとした読図のノウハウなども教えて頂いたりもしました。下山後は近くの焼津温泉で入浴。しょっぱい温泉が登山で疲れた身体に染みしました。



<リーダーコメント>

いつになく混雑した満観峰でした。無風・快晴となれば、やはりこの山は手近で優しい山で、多数の登山者が集まりました。最初の登り、満観峰からのアップダウン、そして花沢山への急な登り、下り。満観峰だけでなく、それなりの登山を楽しめたと思います。近年の里山ブームでは地図を持たない人もいるようですが、少しコースを変えただけで、人はいなくなり、ルートも選択が難しくなります。必ず地図読み(つまり現在位置の把握)をこまめに行いましょう。GPSは予備電池を持っていくようにしましょう。自分の歩くルートを事前学習して、分岐や、地形(尾根、谷、特徴的な地形)を予め理解しておきましょう。今年は春から縁起が良さそうです。

.....

1月21日(土) ☆

山城：静岡市 山名：薩埵峠～浜石岳(707m)

(往路) 金山→高辻IC→清水IC→登山口

(復路) 登山口→清水IC→高辻IC→金山

コースと所要時間

三本松登山口駐車場 9:55～浜石野外センター

10:00～10:39～浜石岳山頂 11:29/11:45
～さった峠分岐～浜石野外センター12:07～三本
松登山口駐車場 12:16
参加者 (3名)
CL: 倉橋 智司



(参加者の感想)

・今回は、当初薩埵峠から富士山を望みながら浜石岳までを歩くコースで予定されていましたが、長距離コースに異議が出たとのことで、野外センター駐車場から往復 3km ほどのハイキングとなりました。キャンプ場も併設されているコースということもあり、登山道は整備されており、危険箇所もない、安全登山となりました。駐車場付近では雲に覆われた富士山でしたが、頂上に着くころには雲がはけ、雄大な富士山を愛でることができ、良い1年の初めとなりました。

・朝到着時には雲が多く富士山は全く見えず、風も強くかなり寒かったです。登り始めると日ざしが出てきて暖かくなり山頂に到着すると雪をかぶった富士山が目の前にど～んと現れ参加者一同感激の声を上げました。まぐろや干物やみかん等お土産を購入する時間もあり帰宅してからも静岡の余韻に浸りました。

<リーダーコメント>

薩埵峠の一部崩落とコース時間短縮の為、かなり短いコース時間となった。駐車場での寒さから、頂上での強風に依る汗冷えにならない為、慎重な歩行を心掛けた。それでも結果的にコースタイムより短く、登頂後は時間的な余裕が出来た。頂上は、幸い殆ど風もなく日差しにも恵まれ、富士山の雄大な眺めを堪能できた。

.....

1月22日(日) ☆

山城: 袋井・掛川市 山名: 小笠山 (265m)

(往路) 市民会館南側道路 7:00→浜名湖 SA(通過)⇒法多山駐車場 9:00

(復路) 法多山駐車場 16:50→遠州和の湯 17:10/17:50→金山 20:00

コースと所要時間

法多山駐車場 9:00～尾根 9:50～小笠山 11:30
～小笠神社昼食 12:00/12:30～法多山 15:30
～駐車場 16:25 歩行時間 6時間

参加者 (4名)

CL: 近藤 政仁

(参加者の感想)

・事前の地図読みで標高も高くなく、等高線の間隔も広くゆったりしていたので甘く考えてしまいました。実際に歩いてみると思っていた以上にアップダウンの繰り返しでした。ピークの数が多いことは読み取っていましたが、10mに満たない地図上には現れない隠れピークがあることを教えていただきました。分かれ道も多く道迷いしやすい山では、鉄塔・送電線の人工物を目印にすることも大切だと思いました。残念ながら楽しみにしていた富士山の雄姿を見ることはできませんでしたが、法多山で厄除けのお参りをして厄除け団子を買うことができ有意義な一日となりました。

・予想と違いとても穏やかな晴天で、終始気持ちよく歩くことができました。地図上ではわからない見落とししがちな分岐点がいくつもあり、リーダーがいなければ絶対に歩けないコースでした。低山でしたが、かなり切れ落ちていて、登山道の細いところは怖くて傾いて歩いていました。温暖なためか静岡の山は冬でも青々としていて、心身共にリフレッシュできました。



<リーダーコメント>

山行日の天気は寒くて風が強く、富士山の遠望が効くことを想定していましたが、予想に反して風も弱く温かい登山日和になりました。尾根の縦走路では汗もかかず、気持ちよく歩けましたが、富士山は小笠山、小笠神社の両方とも見えませんでした。縦走路の南アルプス展望台では赤石岳と荒川三山を眺め、御年88歳の登山女性にお会い

し、元気の源の登山をお聞きできました。更に色々な山に登り、今年一年安安心心に登山されることをお祈りいたします。

1月28日(土) ☆☆☆

山城：鈴鹿 山名：御在所岳(1,212m)

往路：金山 6:55→東別院入口→名古屋西 J CT→

四日市 IC7:28→御在所ロープウェイ P 7:55

復路：駐車場 15:10→(15:29 入浴 16:39)→菰野 I

C16:47→名古屋西 J CT→白川出口→金山 17:35

コースと所要時間

ロープウェイ駐車場 8:26～かもしか大橋～裏道

登山口 9:10～藤内小屋 10:15/10:30～国見峠(昼

食)12:25/12:53～御在所スキー場横を登る～御

在所岳山頂 13:23～山上駅 13:52→湯の山温泉駅

14:47 歩行時間：4時間05分

参加者(7名) CL:高松 信治 SL:倉橋 智司



(参加者の感想)

・強い寒波の後、山行中止になる可能性もあるかと思っておりましたが、山行決行のメールをいただき、雪山へ行ける喜びと不安でいっぱいになりました。雪は例年より多いとのことでしたが、強風に見舞われることはなく楽しい山行となりました。ただ、国見峠手前で昼食休憩をとった際、インナー手袋は着けていましたが急に指先が冷えてしまい、その後なかなか戻りませんでした。美しい雪景色の中、あらためて雪山での経験を積んでいきたいと思いました。(荒川 章子)

・写真やお昼も手袋をとる習慣になっていて、昼食後は手を冷やしてしまい、手がかじかんでしまいました。次回の冬山は、お昼もインナー手袋したまま食べられるよう包んだり、カメラも対策したりしようと思いました。厚めの手袋をしているため時計も見にくいので対策が出来ればと思

いました。冬山は慣れないこともあり、準備に時間がかかったことも気になりました。歩く時間が減ればそれだけ遅くなり心の余裕もなくなるので、準備もさっとできるように心がけようと思いました。

・今回の山行では、雪山登山に必要な歩行技術と知識を学ぶことができました。傾斜がきつくなき、ある程度雪が踏み固められていればアイゼンなどを付けずに安全に歩けること。特に登りと下りでのアイゼンの使い方に違いがあることを知ることができ、今後の雪山山行での安全確保に役立つ山行となりました。(中村 慎吾)

・雪の御在所岳の頂上に2年越しした。霧氷も綺麗でした。機会があれば下りも経験してみたいと思います。アイゼン装着時について手袋をはずしてしまう悪い癖があります。登るに従い気温は当然下がり、ランチタイム後の稜線の上りでは手指・足がとても冷たかったので、次回はインナー手袋の予備を持って行って濡れていたらお昼に交換しよう！と思いました。サングラスも曇って視界を妨げたので、休憩時のケアを怠らないようにしたいと思います。

・大寒波あとの鈴鹿地方の大雪の週末の御在所山行となりました。想像以上に雪が多く、登山口からどこでアイゼンを履くのかとか、雪山での実際のウェアの調整方法、手袋の使い分けなども教えていただき参考になりました。先頭も替わり上部での急な箇所でのアイゼンを使っただけのステップを造りながら7名で登っていったのが楽しく印象に残りました。途中から雪が降ってきて静かな雪山の雰囲気も味わえ、大雪の御在所を登って身近な雪山を楽しめました。

<リーダーコメント>

昨年に引き続き今年も驚くほどの雪の多い御在所岳となりました。山行前の木曜日に大雪の状況の下見に出かけました。いつもの湯の山温泉からスカイラインの裏道登山口までの夏ルートは誰も通っておらず腰辺りまでのラッセルがあり、急斜面のトラバースありで危険のため、ロープウェイ山麓駅からかもしか大橋経由で裏道登山口に向うように変更しました。山行日の土曜には道路状況もある程度改善され、予定時刻に出発できたのですが踏み跡があっても雪が多く時間がとられたため、下山はロープウェイにしました。国見峠付近に到達しても風は強くならなかったのですが、雪庇ができており夏道とは変えてスキー場横の斜面を山頂に向かいました。低温のため深い細かい雪は締まっておらず歩行に苦労しました。お陰様で全員無事登頂でき有難かったです。

1月29日(日) ☆山城：湖西連峰

山名：神石山(325m)・座談山(310m)・東山(258m)

(往路) 各自の最寄り駅～JR新所原駅

(復路) JR二川駅～各自の最寄り駅

コースと所要時間

JR新所原駅8:38～梅田親水公園9:00～梅田峠9:20
～嵩山9:35～梅田峠9:53～仏岩10:13～ラクダ岩
分岐10:46～神石山11:10 /11:40～船形山12:03～
座談山12:28～東山13:52～JR二川駅14:36

歩行時間：4時間 39分

参加者(10名) CL：奥野 明美 SL：川崎 明子



(参加者の感想)

・今年初めての山行参加でしたが、お天気にも恵まれ、富士山や浜名湖を遠望することができて大満足でした。途中、少し雪が残っていると急登もありましたが、ペースもゆっくりで景色を楽しむこともできました。(大蔵 和代)

・今回はとても学びの多い山行となりました。地図を見ながら、自分のいる場所、これから向かう方向を読む。道周囲の情報も手がかりに、それには、1万2,500分の縮小がとても見易いという事がわかりました。冬の登山着についても分からない事が多かったのですが、衣類の種類や調節についても皆それぞれで、汗をかき過ぎず、寒くなく、自分に合った快適なものを経験しながら選んでいくのが良いと思いました。(竹本 美香)

<リーダーコメント>

スタート前、風もあったので「今日のルートは、登山道もしっかり整備されているので足が速くなりがちです。汗をかかない程度のスピードで歩きましょう」と注意させてもらいました。嵩山や神石山からは、富士山や南アルプスの山々を眺めることができ、一気にモチベーションが上がりました。西に進むにつれて若干の雪もあり、冬の里山歩きが楽しめたかと思えます。SL川崎さんとAD服田さんの随所での地図読みの指導に感謝申し上げます。

.....

2月11日(土祝)☆☆

山城：鈴鹿山脈 山名：藤内小屋～青岳(1,102m)

(往路) 名古屋7:55→ロープウェイ前9:05

(復路) ロープウェイ前16:44→名古屋17:55

コースと所要時間

ロープウェイ前9:25～藤内小屋10:40～岳不動
分岐越(アイゼン装着)11:05/11:30～標高
850m(昼食)12:20～標高900m(撤退)13:10～岳
不動分岐14:15～藤内小屋14:50/15:20～ロープ
ウェイ前16:20 歩行時間：約5時間30分

参加者(11名)

CL：田中進 SL：川崎 禎明



(参加者の感想)

・初めての12爪アイゼン装着山行でしたが楽しく過ごすことが出来ました。まだまだ知識は不十分ですが、楽しくためになる登山はなんど行っても楽しい一言につきます。

・12月に国見岳、青岳、今回の急登を降りましたが、その時も落ち葉で滑り木の根につまづき大変でした。アイゼン装着して再び臨み6本爪だったので、前に歯がなく雪の急登を下るのは、怖さが先立ち余計に力が入ってしまいました。やはり、8本～10本くらいあった方がより安全だと思いました。

・以前から雪山に興味がありましたが、わからないことが多く不安だったので、初級アイゼン歩行が学べる青岳山行に参加しました。皆さんに雪山装備のアドバイスをいただいたおかげで、最後まで足が冷たくならず歩けました。

・お天気にも恵まれ雪の状態も思ってた以上に少なかったのですが、やはり軽アイゼン歩行は大変ですね。アイゼン付けての急登はかなり体力も消耗しますし、バランスも難しく時折、ヒヤッとすることもありました。残念ながら目的地までは行くことができませんでしたが、いい体験になった山行でした。

・お天気が良く風も弱かったので雪の状態を除けば最高のコンディションでした。SLには安全な誘導、ありがとうございます。積雪が少なかったのですが、傾斜がきついところは軽アイゼンで苦労しました。まだまだです。

<リーダーコメント>

少ない雪でも800mを越えると20~30cmの重たい雪中ラッセルとなり、思ったより時間かかりヤシオ尾根の腰越峠まであと一步の900mで撤退しました。このコースは雪の時期は初心者には時間的に無理でした。アイゼン歩行も皆さん体験出来て良かったのではと思います。6本爪の初心者には10本~12本の方が楽なことを教えました。

2月12日(日)☆☆ 山域：西三河
山名：高根山(453m) 折平山(628m)

(往路) 東山公園 8:00→雲興寺経由→石畳ふれあい広場 8:50 (復路) 石畳ふれあい広場 14:50→東山公園 17:20

コースと所要時間

ふれあい広場 9:00 ~ 祠 9:40 ~ 林道出合 9:50~高根山 10:23~折平山山頂 11:08~分岐 11:39~展望台(昼食) 12:15/55~高根山 13:49/14:02~ 登山口 14:13~ふれあい広場 14:54

所要時間 5時間54分

参加者(3名) CL: 榊 将美



(参加者の感想)

・今回は里山登山の難しさを実感した登山でした。最初から登山口が分かりづらく、続く掘割からの分岐道も分かりにくく、地図と地形で方向確認を行いながらの登山となりました。途中、巻き道の「尾根通し」、稜線を歩く「尾根心」等山用語を教わりながら、高根山・折平山の2つのピークを通過し、今回のハイライトである天狗様探しを楽しみました。とにかく落ち葉で滑りやすく、静移動・静加重、ストックの効能である推進力・制動力・拮抗力等を理論と実践として学べた、非常に学びの多い山行でした。(古野 敏彦)

今回は少人数で天狗様探しを楽しみました。カラス天狗様が見つからなかったのは残念でしたが

天狗様1と天狗様2は出会えました。またいつか探しに行ってみたいと思います。里山の登山口はいつも迷いますが、今回もリーダーの地図が事前に配布されなかったらどうなっていたかと思いました。アップダウンが激しく、エセピークに騙されつつ、目印テープの重要性も実感しながら地図読みの実践編を学びました。

<リーダーコメント>

今回の山行テーマは「地形読みと読図」です。参加者には事前に資料(ドリル)を提供して机上登山をしてきて頂きました。皆さん十分準備をされましたが、里山特有の複雑な地形に困惑をし、先読みに苦労をしていました。反面活発な質問に熱意を感じました。また低山の割にはアップダウンが激しく歩行の練習もできた有意義な山行でした。今回参加のお二人は山行歴も永く歩行もしっかりされています。これからはいろいろな山域に対応できる山行能力を高めて頂きたいと思います。「先読みの読図」もその一つです。

2月18日(土)19日(日)☆☆

山域：長野 山名：乗鞍高原・上高地(1,500m)

(往路) 日本特殊陶業市民会館 7:30→名古屋高速・中央道松本IC→乗鞍高原/中之家・蕎麦屋 11:15 / 11:55 乗鞍観光センター 12:10→ペンション 15:50 (復路) ペンション 9:30→諏訪IC(中央道・名古屋高速)→金山 18:05

コースと所要時間

1日目：休暇村乗鞍高原 13:00~牛留池 13:09~善五郎の滝 14:00~乗鞍観光センター 15:20
所要時間：2時間20分 2日目：ペンション 9:30~カモシカスポーツ~11:15→松本城 11:40→諏訪大社 14:50

参加者(11名) CL: 金谷 正起 SL: 奥野 明美



(参加者の感想)

・スノーシューは、軽い斜面だったら登ったり下

ったりできますし、積もった雪に入って行けるのが楽しいです。善五郎の滝では、凍っている滝や凍っている滝の一部から水が流れ落ちている光景に感激しました。雨で二日目の上高地でのスノーシューが中止になりとても残念でした。まさか2月の上高地でこんなにも雨がふるとは思わなかったのが驚きました。機会があれば上高地をスノーシューで散策してみたいです。

・スノーシューは初めての体験でした。装着後すぐは、身体との一体感が得られずギクシャクした歩きになりましたが、慣れてくると木々の間を自由に歩き回れるようになり、小動物になった気分でした。翌日は天気予報通りの雨でしたが、観光に切り替えていただいたので買い物や美味しい食事がゆっくりでき、思いがけず充実した一日となりました。

・初めてのスノーシューで乗鞍高原を楽しみました。国立公園は冬でも整備が行き届いており、善五郎の滝までの下りは凍結していてちょっと怖かったけれど氷瀑（全面結氷にあらず）を間近で眺め堪能しました。夜半からの雨音は朝になっても止まず、残念ながら厳冬の上高地は中止となり、リベンジを誓いました。

・最初は慣れなかったスノーシューの歩きも爽快に感じだし慎重に階段を下った後、目の前にあらわれた蒼い色をまとった善五郎の滝の何とも言えない素晴らしい姿。2日目悪天候で上高地は断念せざるをなかったのですが、それを消すような滝の姿が目に焼き付いてはなれません。また、思いがけず観光のおまけ付きで楽しい2日間でした。

・冬の上高地と聞いてどんな景色なのかと期待して参加しました。1日目は、乗鞍高原を自分のワカンで高原のコースを歩き、コースから外れた深い雪を楽しく歩き、ワカンの使い方もなれてきました。目的の善五郎滝は氷としぶきが混じって迫力の冬滝を間近で感じました。

<リーダーコメント>

今年の乗鞍高原は一週間以上雪が降らず堅くなり雪も少ないスノーハイキング、善五郎滝は全部凍っておらず飛沫が飛ぶという有様、2日目は朝からザーザー雨が降り河童橋のライブカメラも雨で雪がありません。5年間でこれ程異常な環境は初めてです。これはもう皆さんと新雪を求めて来年リベンジするしか無いですね。しかし大正池脇道路の雨の為の雪崩事故には驚きました。心配していましたがまさか！迷ったら止めるです。

.....

2月26日(日)☆☆ 山域：尾張・春日井三山
山名：弥勒山(437m)大谷山(425m)道樹山(429m)

コースと所要時間

バス高蔵寺 8:00→内々神社 8:30～内津峠分岐
9:00～登山口 9:21～弥勒山 10:02～大谷山 0:37
～道樹山 10:53～桧峠 11:32/ 12:00 ランチ～外
之原 12:40～ 御岳神社 13:40～ JR 定光寺駅
14:10→金山 15:00 歩行時間 5時間

参加者(8名) CL: 磯部 隆



(参加者の感想)

・少々風がありましたが晴天に恵まれ、御嶽山も綺麗に見え、気分の良い山行でした。春日井三山は何度も登っていますが、内津峠から定光寺へ抜けるルートは初めてでしたので、分岐などを確認する事ができました。これからは、ルートを変えて登ってみようと考えています。

・山好きなメンバーとの会話も弾み、終始余裕のある時間配分のお陰で、リラックスして歩くことができ、とても楽しい山行となりました。弥勒山山頂は人、人でごった返しており、三山の人気ぶりがうかがえました。春日井三山は名古屋市内からも近く、コースを研究して何度も試してみたい魅力的な山でした。

・天気に恵まれ、穏やかな陽射しの中をノンビリ歩けました。分岐点での方向確認も何とか皆んなで出来たかなと思います。凄く長い縦走コースだというイメージが有りましたが思ったよりも良く歩けたと思います。

<リーダーコメント> 内々神社から、定光寺までの縦走、途中 30分ほどランチタイムを含んでも、午前9時前に出て、14時頃には、縦走完了。歩行時間5時間足らず。予想外に時間がかからない、と参加者の皆さんも、驚きながらも、納得されていた。去年の夏山フェスで入会された若手?が3名。皆さん、健脚。しかし、某Mさんが先頭になった時、その飛ぶような足取りに全員圧倒された。やはり、年齢とは関係なく?日頃の鍛錬も必要であることを改めて感じさせられた。写真は、弥勒山頂上であるが、背景の御岳山は雪を戴き、圧巻であった。

.....

令和5年7月～9月の山行計画です！
＜FAX かメール・携帯はSMSで山行リーダー
にお申込み下さい。＞！

- ・募集開始は山行日の3ヶ月前(午前6時)から、
山行申し込みは月に2山行までとします。
- ・山行日・山名・会員番号・氏名・住所・電話
(携帯電話)・生年月日・血液型・加入保険名
- ・緊急連絡先(その関係)・連絡用メールアドレス

☆山行グレード

- ☆ 1日の累計標高差(登り) 600m以内、
歩行時間4時間程度の山
- ☆☆ 1日の累計標高差(登り) 1,200m以内、
歩行時間6時間程度の山
- ☆☆☆ 1日の累計標高差(登り) 1,200m超過、
歩行時間6時間超過の山

＜夏山＞7月8日(土) 9日(日) ☆

山城：北アルプス 山名：乗鞍高原・五色ヶ原

1日目：乗鞍高原一ノ瀬園地～あざみ池～善五郎滝～ジョイフル朴ノ木

2日目：ペンション～五色ヶ原センター～シラビソコース

歩行時間：1日目3時間半 2日目8時間

集合：日本特殊陶業市民会館南側道路

時間：午前7：00 交通：通勤バス

参加費：32,000円

募集：8名

リーダー：金谷 正起 雨天決行

ポイント：1日目は乗鞍高原の高山植物を見ながら散策。2日目はガイドと共に手つかずの乗鞍岳山麓原生林地帯を楽しむ。

＜夏山＞7月15日(土) 16日(日) ☆☆

山城：後立山 山名：唐松岳(2,696m)

1日目：八方池山荘～八方池～扇雪溪～丸山ケルン～唐松山荘

2日目：唐松山荘～丸山ケルン～扇雪溪～八方池山荘

歩行時間：1日目4時間10分 2日目3時間30分

集合：金山日本特殊陶業市民会館南側道路

時間：午前6：30 交通手段：マイカー

参加費：約34,000円(実費精算)

募集：3名

リーダー：村瀬 恭平

ポイント：北アルプスの後立山連峰の主稜線にそび

える山で、ルートはゴンドラとリフトが利用できる、八方池までは木道などの整備が進んで初心者の方にも入門コースとして人気です。

＜夏山＞7月15日(土)～18日(火) ☆☆

山城：尾瀬 山名：至仏山(2,228m)

1日目：尾瀬戸倉温泉「山びこ」泊

2日目：山びこ～鳩待峠～山の鼻小屋～尾瀬ヶ原周遊～山の鼻小屋泊 3日目：山の鼻小屋～至仏山～鳩待峠～山の鼻小屋泊 4日目：山の鼻小屋～鳩待峠～戸倉駐車場

歩行時間：2日目6時間 3日目8時間

集合：金山日本特殊陶業市民会館南側道路

時間：午前6：40 交通手段：コミュニティバス

参加費：約6万円(実費精算)

募集：10名

リーダー：榊 将美

ポイント：尾瀬国立公園「尾瀬ヶ原」周遊、日本百名山「至仏山」登山を“のんびり、ゆったり”と尾瀬を満喫します。

＜夏山＞7月22日(土) 23日(日) ☆

山城：木曾恵那 山名：富士見台高原(1,739m) 横川山(1,619m)

1日目：神坂峠駐車場～山小屋萬岳荘泊り

2日目：小屋～富士見台高原～横川山～萬岳荘

歩行時間：1日目1時間 2日目4時間

集合：金山日本特殊陶業市民会館南側道路

時間：午前8：00 交通：マイカー3台

参加費：約10,000円

募集：10名

リーダー：田中 進 雨天：決行

ポイント：山小屋泊、自炊 BBQパーティー夜は満点の星観察、翌日は頂上から百名山23座を望むトレッキング。

＜夏山＞7月28日(金) 29日(土) ☆☆

山城：南八ヶ岳 山名：編笠山(2,523m)・権現岳(2,715m)

1日目：観音平～押手川～編笠山～青年小屋泊

2日目：小屋～権現岳～青年小屋～押手川～観音平 歩行時間：1日目5時間 2日目6時間

集合：金山日本特殊陶業市民会館南側道路

時間：午前6：30 交通：マイカー

参加費：20,000円(実費精算)

募集：5名

リーダー：倉橋 智司 雨天：中止

ポイント：優しい山容の編笠山、険峻な山容の権現岳。隣に位置しながら異なった山容。

<夏山>8月6日(日)7日(月)☆☆ 山域:八ヶ岳 山名:硫黄岳(2,760m)天狗岳(2,646m)
1日目:美濃戸口~赤岳鉱泉~硫黄岳山荘(泊り)
2日目:硫黄岳山荘~東天狗岳~西天狗岳~唐沢鉱泉 歩行時間:1日目 2日目6時間
集合:JR千種駅プラットフォーム
時間:午前6:50 参加費:30,000
募集:5名

リーダー:磯部 隆 雨天:中止
ポイント:硫黄岳の爆裂噴火口の迫力と、両天狗岳を越えて唐沢鉱泉までの、比較的静かな尾根歩き。

<夏山>8月25日(金)~27日(日)☆☆☆
山域:北アルプス 山名:槍ヶ岳(3,180m)
一般的な登山口から一般的なルートを辿り槍ヶ岳に登ります。
集合:金山日本特殊陶業市民会館南側道路
時間:午前7:00 交通:未定
参加費:実費精算
募集:7名

リーダー:高松 信治 雨天:基本は決行
ポイント:支部友会から示された計画に参加する登山ではなく参加希望者とリーダー・サブリーダーで槍ヶ岳登頂を目指す「槍ヶ岳登山部」を結成。行程、宿泊など登山計画をねりあげて、実行します。槍ヶ岳に登った経験の無い方の参加を想定しています。

<夏山>9月10日(日)11日(月)☆☆
山域:北アルプス 山名:常念岳(2,857m)
1日目:一ノ沢登山口~常念小屋(泊)
2日目:常念小屋~常念岳~一ノ沢登山口
歩行時間:1日目5時間 2日目7時間
集合:日本特殊陶業市民会館南側道路
時間:午前7:00 交通:マイカー
参加費:約30,000円
募集:3名

リーダー:近藤 政仁 雨天:中止
ポイント:日本百名山の常念岳から北アルプスの山々を眺め、次に登る山や山旅の楽しみを探してみよう。

<夏山>9月14日(木)~16日(土)☆☆☆
山域:北八ヶ岳 山名:硫黄岳(2,760m)・根石岳(2,603m)・天狗岳(2,646m)・丸山(2,330m)・茶臼山(2,384m)・縞枯山(2,403m)
1日目:桜平~夏沢温泉~夏沢峠~硫黄岳~オーレン小屋泊 2日目:小屋~根石岳~東天狗岳~西天狗岳~黒百合ヒュッテ~中山高見石小屋泊
3日目:小屋~丸山~麦草峠~茶臼山~縞枯山~坪庭・北八ヶ岳ロープウェイ坪庭駅 歩行時間:

1日目5時間 2日目7時間 3日目5時間
集合:JR名古屋駅(AM7:00 しのの1号)
交通:JR・タクシー・ロープウェイ・バス利用
参加費:約40,000円
募集:5名

リーダー:奥野 明美 雨天:中止
ポイント:ピークハントしながらのんびり北八ヶ岳を縦走し苔と景色と小屋泊りを楽しむ。高見石小屋では、新月なのでお天気次第で星空観察に期待。

9月10日(日)☆ 募集開始6月10日
山域:越美山地 山名:岩籠山(765m)
ルート: 駄口登山口からインディアン高原を経て山頂を往復 歩行時間:3時間30分
集合:日本特殊陶業市民会館南側道路
時間:午前7:00 交通:マイカー
参加費:3,500円
募集:3名 雨天:中止

リーダー:今津 英一朗
ポイント: 敦賀三山の一つ 敦賀湾 琵琶湖を遠望

9月23日(土)☆☆ 募集開始6月23日
山域:伊那谷の山 山名:守屋山(1,651m)
ルート:古屋敷登山口~鳥居~守屋山東峰~守屋山(西峰)~守屋山東峰~守屋新道入口~立岩~登山口
歩行時間:約3.5時間
集合:日本特殊陶業市民会館南側道路
時間:午前7:00 交通:マイカー
参加費:約4,000円
募集:3名 雨天:中止

リーダー:高松信治
ポイント: 巨岩・奇岩が点在。トリカブトを楽しみ360度展望の山に登ります。登山口が遠方となるため時間はタイトです。

9月30日(土)☆ 募集開始6月30日
山域:木曾山系 山名:寧比曾岳(1,121m) 笹ヶ岳(985m) ルート:大多賀峠登山口~寧比曾岳~笹ヶ岳を経て山頂を往復 歩行時間:約6時間
集合:日本特殊陶業市民会館南側道路
時間:午前7:00 交通:マイカー2台
参加費:約3,000円
募集:8名 雨天:中止

リーダー:田中 進 サブリーダー 川崎 禎明
ポイント: 初心者向きで自然があふれる東海自然歩道のハイキング

2023 年下半期 7 月～12 月山行計画

東海支部 支部友会

| 月度 | 日 | 曜 | 募集開始 | 締切 | 募集 人数 | グレード | 山域 | 山名 | リーダー | 備考・目的 | |
|----|-------|-----|----------------------------|-------|----------|------|----------|----------------|--------------|-----------------------------|------------------------------|
| 7 | 8・9 | 土・日 | 夏山 4/17 | 6/8 | 8名 | ☆ | 北アルプス | 乗鞍高原・五色ヶ原 | 金谷 | 花鑑賞ハイキング | |
| 月 | 15・16 | 土・日 | 夏山 4/17 | 6/15 | 3名 | ☆☆ | 後立山 | 唐松岳 | 村瀬 | 劔岳や立山連峰や五 竜、鹿島槍などを望む | |
| | 15～18 | 土～火 | 夏山 4/17 | 6/15 | 10名 | ☆☆ | 尾瀬 | 至仏山 | 榎 | ゆったり尾瀬を満喫 | |
| | 22・23 | 土・日 | 夏山 4/17 | 6/22 | 10名 | ☆ | 木曾恵那 | 富士見台高原～横川岳 | 田中 | 萬岳荘素泊まり自炊 | |
| | 28・29 | 金・土 | 夏山 4/17 | 6/28 | 5名 | ☆☆ | 南八ヶ岳 | 編笠山～権現岳 | 倉橋 | 南八ヶ岳を縦走して アルプスを遠望 | |
| 8 | 6・7 | 日・月 | 夏山 4/17 | 7/6 | 5名 | ☆☆ | 八ヶ岳 | 硫黄岳～天狗岳 | 磯部 | 中八ヶ岳を縦走して アルプスを遠望 | |
| 月 | 25～27 | 金～日 | 夏山 4/17 | 7/25 | 7名 | ☆☆☆ | 北アルプス | 槍ヶ岳 | 高松 | 参加者とリーダーで作る 槍ヶ岳 登山チーム | |
| | 9 | 10 | 日 | 6/10 | 8/10 | 3名 | ☆ | 越美山地 | 岩籠山(いわごもりやま) | 今津 | 敦賀三山の一つ 敦賀 湾 琵琶湖を遠望 |
| 月 | 10・11 | 日・月 | 夏山 4/17 | 8/10 | 3名 | ☆☆ | 北アルプス | 常念岳 | 近藤 | 北アルプスの山々を眺 め次に登る山を探そう | |
| | 14～16 | 木～土 | 夏山 4/17 | 8/14 | 5名 | ☆☆ | 北八ヶ岳 | 硫黄岳・根石岳・天狗岳・中山 | 奥野 | 北八ヶ岳を縦走して アルプスを遠望 | |
| | 23 | 土・祝 | 6/30 | 8/30 | 3名 | ☆☆ | 伊那谷の山 | 守屋山 | 高松 | 巨岩、奇岩、展望の山 トリカブトを楽しむ | |
| | 30 | 土 | 6/30 | 8/30 | 7名 | ☆ | 木曾山系 | 寧比曾岳・筈ヶ岳 | 田中 | 初心者向けハイキング コース | |
| 10 | 1 | 日 | 7/1 | 9/1 | 7名 | ☆ | 瀬戸 | 物見山 | 金谷 | 新入会員歓迎地図読み | |
| 月 | 7 | 土 | 7/7 | 9/7 | 7名 | ☆ | 瀬戸 | 物見山 | 金谷 | 新入会員歓迎地図読み | |
| | 8 | 日 | 7/8 | 9/8 | 3名 | ☆ | 岐阜 | 高賀山 | 今津 | 山岳信仰と一等三角点 の山 | |
| | 14・15 | 土・日 | 朝明ミーティング 支部友会のメインイベント 朝明茶屋 | | | | | | | | 分散登山とハーバ キュー・キャンプファイ ヤ |
| | 21 | 土 | 7/21 | 9/21 | 5名 | ☆☆ | 鈴鹿 | 雨乞岳 | 倉橋 | ブナ林と大展望の鈴鹿 山脈第2の高峰 | |
| | 28 | 土 | 7/28 | 9/28 | 4名 | ☆ | 奈良県葛城山系 | 金剛山 | 田中 | 楠木正成の千早赤坂城 址のある日本二百名山 | |
| | 29 | 日 | 7/29 | 9/29 | 5名 | ☆☆ | 鈴鹿 | 御在所 | 磯部 | やや急な最短ルートで 下山 | |
| 11 | 9 | 木 | 8/9 | 10/9 | 10名 | ☆ | 岡崎 | 京ヶ峰～音羽富士 | 尾上 | ほたるの里の山歩き | |
| 月 | 11 | 土 | 8/11 | 10/11 | 4名 | ☆☆ | 高蔵寺多治見 | 春日井三山～池田富士 | 池戸 | 縦走後 カフェでランチ その後池田富士を周回 | |
| | 12 | 日 | 8/12 | 10/12 | 3名 | ☆ | 岐阜県 | 納古山 | 今津 | 納古山山頂ではノコリン のお迎えと360度の遠望 | |
| | 19 | 日 | 8/19 | 10/19 | 3名 | ☆ | 静岡県 | 八高山 | 近藤 | 山頂から富士山遠望 | |
| | 25 | 土 | 8/25 | 10/25 | 5名 | ☆ | 大峰山・大台ヶ原 | 高取山(高取城址) | 奥野 | 日本一の山城跡と紅葉 を愛でる(近鉄利用) | |
| | 25 | 土 | 8/25 | 10/25 | 7名 | ☆ | 越美山地 | 蕪山(かぶやま) | 田中 | 頂上から白山連峰の眺 望 | |
| 12 | 2 | 土 | 9/2 | 11/2 | 5名 | ☆☆ | 養老 | 養老山 | 磯部 | 養老駅から美濃津屋駅 まで | |
| 月 | 3 | 日 | 9/3 | 11/3 | 5名 | ☆ | 鈴鹿 | 入道ヶ岳 | 倉橋 | なだらかな山頂からの 大展望 | |
| | 10 | 日 | 9/10 | 11/10 | 3名 | ☆ | 鈴鹿 | 竜ヶ岳 | 今津 | なだらかな山容と鈴鹿 の羊を眺める | |
| | 10 | 日 | 9/10 | 11/10 | 3名 | ☆ | 新城市東栄町 | 三ッ瀬明神山 | 近藤 | 愛知県から富士山遠望 | |
| | 16 | 土 | 9/16 | 11/16 | 3名 | ☆☆ | 鈴鹿 | 藤原岳 | 高松 | 初雪の藤原岳 | |

<支部友ミーティング開催のお知らせ>

「報告」第56回 2月14日(火)
19:00~21:00 東海支部ルーム
テーマ:「スマホ地図アプリの活用について」
講師:鈴木 慎吾氏

(東海支部山行委員会前委員長)
参加者(31名 内支部友会員21名)
登山用地図アプリのうち、「YAMAP」
「ヤマレコ」「ジオグラフィカ」「スーパー地形」
「山と高原地図(ホーダイ)」のそれぞれの特徴
が比較表で示されました。いずれも有料アプリとなるので自分に合ったアプリを有効に使う
ようアドバイスがありました。



[予定]第57回 4月11日(火)

テーマ:「2023 夏山への誘い」

講師:9名の山行リーダーが夏山コースを説明し参加者は先行申し込み受付ます。

会場:東海支部ルーム

尚、資料は事前にPDFでメールしますのでプリントアウトして持参ください。

[予定] 第58回 6月13日(火)

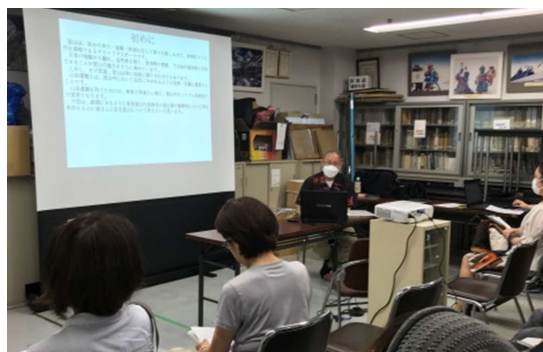
会場:東海支部ルーム 19:00~20:30

テーマ:

「鈴鹿に於ける山岳遭難と実態と対応 Part II」

講師:小古 真也氏 (日本山岳会東海支部員)

統計や事故例から単独登山の危険性や登山届の
重要性について最新情報もお話しです。



(写真は今年の模様です)

支部友会員数

令和5年2月末 入会なし 退会4名 (支部員転籍8名) 現在 58名

編集後記

現在、支部友会の山行参加は東海支部のホームページに掲載されている情報を見てから山行リーダーに申し込みされています。参加者状況を毎日更新しているのは支部友会委員の松本陽子さんです。大変な作業有難うございます。又、ホームページには支部報のアーカイブが掲載されていたので、支部友会だよりも95号から掲載します。個人情報に係わる氏名と写真を同時に出すのは止めていますのでご安心ください。

支部友会事務所連絡先

〒460-0014 名古屋市中区富士見町8-8 OMCビル B-1 東海支部内

URL <http://jactokai.sakura.ne.jp/shibuhp/index.php>

電話:052-332-8363 FAX052-322-7924

編集責任者 田中進 (090-9191-8666)